

安藤昌益を みんなのものに！

事業の趣旨・目的

1974年、安藤昌益の墓が大館市で発見され、晩年の活動や生没地が判明、その後も新資料の発見が相次ぎ、その生涯(医師としての活躍、弟子の継承、思想の拡がり)についての理解が進み、近年は秋田生まれの「いのちの思想家」として、現代のエコロジーやジェンダーの視点にも繋がる再評価が行われています。また世界的にも関心が寄せられています。この事実を、秋田県民の共有財産として確認し、県外へ、また世界へと広く発信することを願うものです。

安藤昌益とは

江戸時代中期、安藤昌益(1703～1762)は、いのちをはぐむ農民の子として生まれ、いのちをまもる医師として生涯を生き、いのちを思想の根源に据えて、人間の来し方、行く末を思考しました。

昌益は、この宇宙の全存在を悠久の時間を生きる一大生命体ととらえ、生命の循環を「自ら然る(ひとりする・わがする)」「自然」と表現しました。また、自然を擬人化して「直耕(ちよっこう)」とも言いました。

直耕とは「てずからたがやす」とも読まれ、宇宙の根源に実在する目には見えないものの働きのある物質(活真)の運動によって天地が生じ、四季の運回によって万物が生じ、万物はそれぞれ食物連鎖・生態循環でいのちを継いでいると見て、それぞれを活真の直耕、天地の直耕、万物の直耕と呼びました。

そして人間は、農業労働で食料を生産し(男女<ひと>の直耕)、食料は炉で煮炊きすることで食べ物になり(炉の直耕)、胃の働きで栄養が全身に行きわたり(胃の直耕)、いのちを支えていると見ていました。

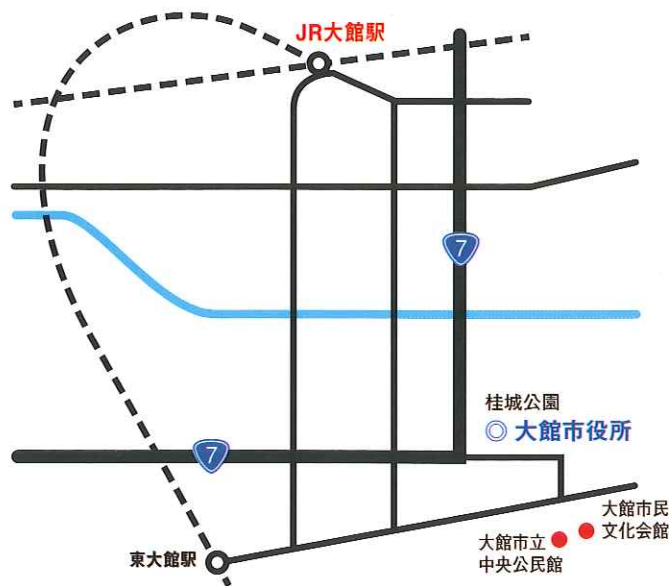
昌益は、いのちを思想の根源に据えることにより、伝統的な東洋医学がもつ差別的な体系を批判し組み替えることで、生命の誕生・育成・保全の医学体系を創出、そこから世界初の排卵周期説を唱え、日本初の精神医学を提唱しました。

また、いのちの尊厳を元に差別的な考えや社会を批判、さらに搾取・支配・抑圧といった階級制度を告発するとともに、日本史・世界史・人類史を総括して、自然と共に生きる平和で平等な「自然の世」の到来を希求したのです。

会場マップ



秋田拠点センターアルヴェ2F多目的ホールA・B
〒010-8506 秋田県秋田市東通仲町4番1号
JR秋田駅東口隣接



大館市民文化会館
〒017-0822 秋田県大館市桜町南45-1

主催 安藤昌益を世界に発信する会

●お問い合わせ

安藤昌益を世界に発信する会 事務局

【秋田市】木村真喜子 090-6162-9526 【大館市】石田 寛 090-8926-0389 【大仙市】片山 佳代子 080-1192-2875

安藤昌益を みんなのものに！

2014年
10月11日(土)～13日(月・祝)
秋田市アルヴェ多目的ホールA・B
10月14日(火)～16日(木)
大館市民文化会館他



©一ノ関圭



山内 明美著『こども東北学』(「よしみちパン!セ」イースト・プレス刊)カバー画より
©及川賢治/100%ORANGE

主催 安藤昌益を世界に発信する会



秋田市

10月11日(土)

会場：アルヴェ 2F 多目的ホール A

基調講演 14:00 「秋田人の立場にて感じ観た安藤昌益」

講師：新野 直吉 (安藤昌益を世界に発信する会 代表)

講 談 15:00 「安藤昌益発見伝」他

講師：宝井 琴桜 (横手市出身)

10月12日(日)

会場：アルヴェ 2F 多目的ホール A

講 座 10:30 「食・農・いのちと安藤昌益」

講師：石渡 博明 (安藤昌益の会事務局長)

講演会 14:00 「こども達に伝えたい安藤昌益の願い」

講師：山内 明美 (大正大学特命准教授)

10月13日(月・祝)

会場：アルヴェ 2F 多目的ホール A

講演会 10:30 「安藤昌益の直耕と現代」

講師：鎌田 慧 (ジャーリスト)

シンポジウム 14:00 「秋田の百姓おおいに語る」

パネリスト：坂本進一郎 佐藤喜作 野添憲治 田口則芳 菊池晃生 石渡博明

[開催期間中] 安藤昌益にちなんだ展示コーナー

会場：アルヴェ 2F 多目的ホール B

10月11日 14:00-19:00 / 12日 10:00-19:00 / 13日 10:00-14:00

大館市

10月14日(火)

集合場所：JR 大館駅前

墓参と史跡巡り 10:00-12:30 安藤昌益命日につき墓参・史跡巡り

<墓参ツアー ルート>

10:00 大館駅出発 → 小林多喜二記念碑 → 狩野亨吉生家

→ 安藤昌益墓 → 安藤昌益石碑 → 中央公民館(昼食 きりたんぼ)

●事前の参加申し込み必要

申込先(石田)：TEL 090-8926-0389 FAX0186-48-4009

会場：大館市民文化会館

講演会 13:30 「安藤昌益の直耕とスローライフ」

講師：辻 信一 (明治学院大学教授)

シンポジウム 15:00 「後世につなげる昌益の思想」

パネリスト：辻 信一 三浦忠司 安藤昌益 石渡博明 他

10月16日(木)

会場：大館市立中央公民館

講演会 18:00 「安藤昌益とギャートルズ」

講師：高野 澄 (歴史小説作家)

[開催期間中] 安藤昌益にちなんだ展示コーナー

会場：大館市民文化会館

10月14日 12:00-18:00 / 15日・16日 10:00-18:00

- 1703年 秋田県大館市二井田贄の里に生れる。
京都?の禅寺で修行、のち寺を離れる。
味岡三伯の下で医学修業。
- 1744年 八戸城下で町医者として活躍。
- 1753年 『自然真営道』6巻本の前編3巻を出版。
(出版弾圧で、後編3巻および『孔子一世弁紀』は出版されず)
- 1755年頃 『自然真営道』100巻本の一部を執筆。
- 1758年 兄の死去に伴い、大館へ帰省。
- 1760年頃 昌益一門の学術シンポを八戸?で開催。
- 1762年 10月14日、病没。温泉寺に葬られる。
- 1764年 二井田の門弟、「守農太神」の碑を建立。
- 1765年 「守農太神」の碑をめくり村方騒動に。
農民側の敗北で決着するも、刑は実施されず。

安藤昌益と共振・共鳴する人々

- ルソー、マルクス、クロボトキン(社会批判)
キング牧師、ネルソン・マンデラ(差別反対)
トルストイ、ガンディー(非暴力)
カント、ヨハン・ガルトウング(平和学)
ナイチンゲール(いのちの中立)
ソロー、ワンガリ・マータイ、アーミッシュ(つましい生活)
ウイリアム・モリス、菅原源八、石川啄木、井上ひさし(ユートピア)
許行、ケネー(農業重視)
アイヌ民族(自然との共生)
サンシモン派(女性解放)
鶴見和子(内的発展論)、中村桂子(生命誌)
田中正造(公害反対)
フロイト(精神分析)、荻野久作(排卵周期説)
柳田国男、南方熊楠(民俗学)
宮沢賢治(雨ニモマケズ)、金子みすず(みんなちがってみんないい)

開催期間中に安藤昌益にちなんだ展示コーナーで関連図を展示します